



Campus Planning and Management Office
+
Facilities Management Department

名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会
平成27年度エネルギーに関する文理融合研究合同成果報告会
第11回 名大発一省エネ推進と地球温暖化防止

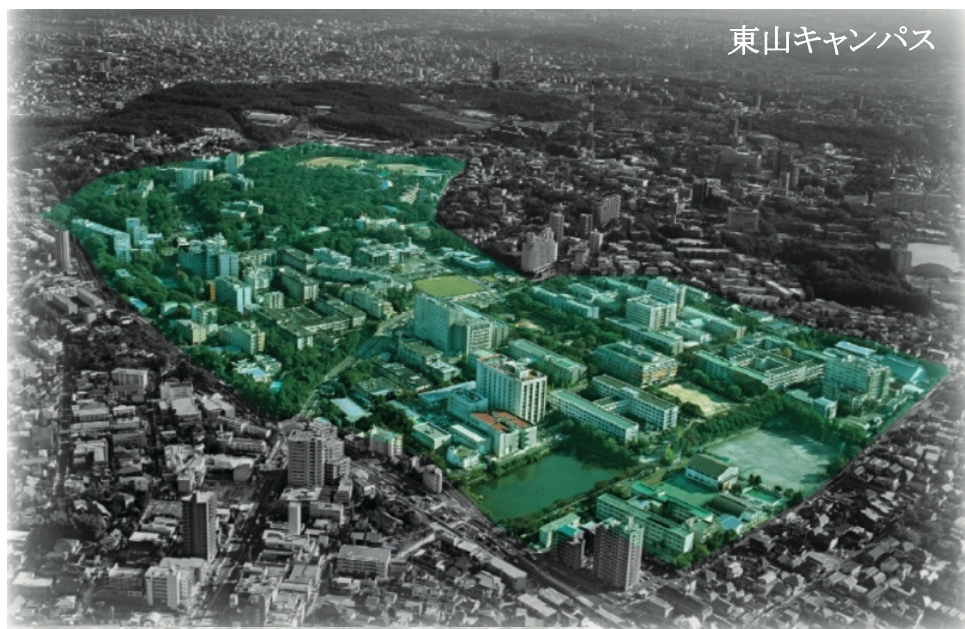
名古屋大学 EM 研究・検討会について

施設・環境計画推進室
(大学院環境学研究科)

奥宮 正哉



名古屋大学キャンパスの概要



構成員数 約21,500人

- 名古屋市人口の1%

総予算額 約1,000億円

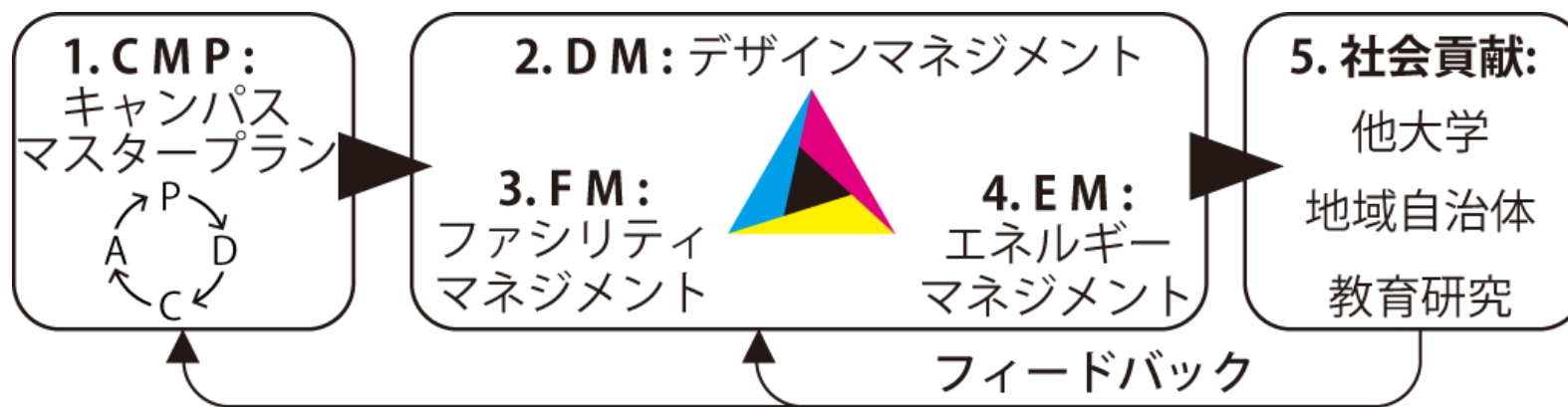
- 20万人都市と
同規模の予算額

CO₂排出量：約8.5万ト

- 名古屋市の業務系で
最大の排出者

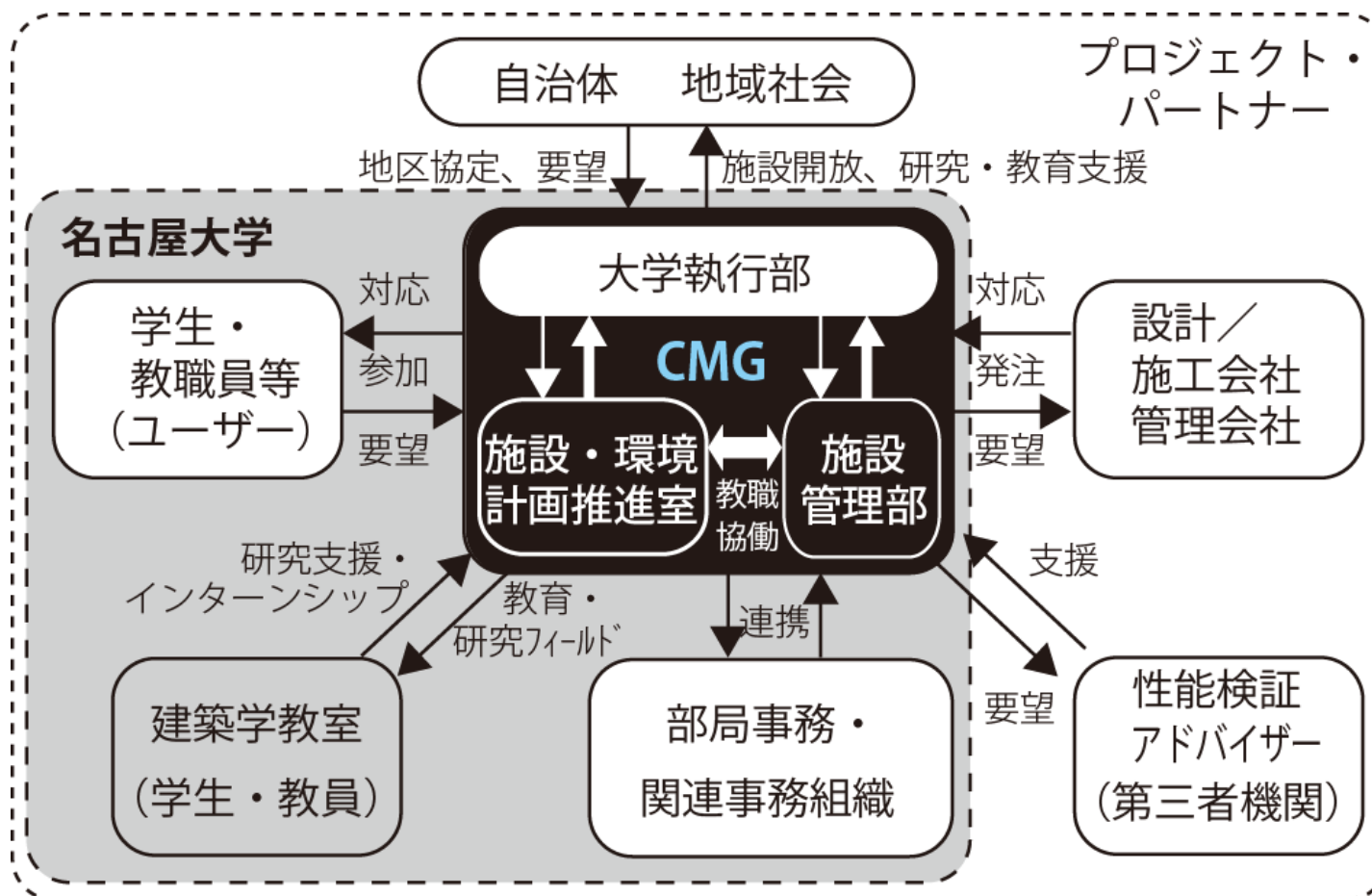
“ひとつの都市”
としてのキャンパス

キャンパスマネジメントの概念



- ・ キャンパスの総合的な戦略（CMP）から、施設の企画・計画・実施・運用に至る一貫した仕組み
- ・ 実務の成果が社会貢献につながり、教育研究の成果がまたフィードバックされる、大学ならではの循環型の仕組み
- ・ それぞれのマネジメントサイクルが相互に補完しあう大きなキャンパスマネジメントサイクル

キャンパスマネジメントの体制



CMG(キャンパス マネジメント グループ) :

施設・環境計画推進室、工学部施設整備推進室、環境学研究科奥宮研究室：方針提案、専門的支援、研究/教育貢献、施設管理部：企画・発注・整備・管理業務

キャンパスマスタープラン(CMP)の継続的進化

CMP1995 (東山キャンパス一次案)

空間の骨格や建築の特徴によるデザインガイドライン

CMP1997

都市や地域との共生

CMP2001

大学憲章に基づく全学的協力

CMP2005

FMによる大学経営への貢献

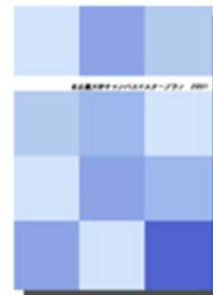
不変的に継承すべきものに蓄積を重ね進化を続ける



CMP(一次案)1995



CMP 1997



CMP 2001



CMP 2005



CMP 2010

キャンパスマネジメントの業績

名古屋大学 東山キャンパスの 創造的再生に向けたこの10年あまりのキャンパスマネジメントに関わる 一連の業績

2004年度(国立大学法人化)以降

- ・約48万㎡の既存施設のマネジメント
- ・約11万㎡の新築・改築、約12万㎡改修整備

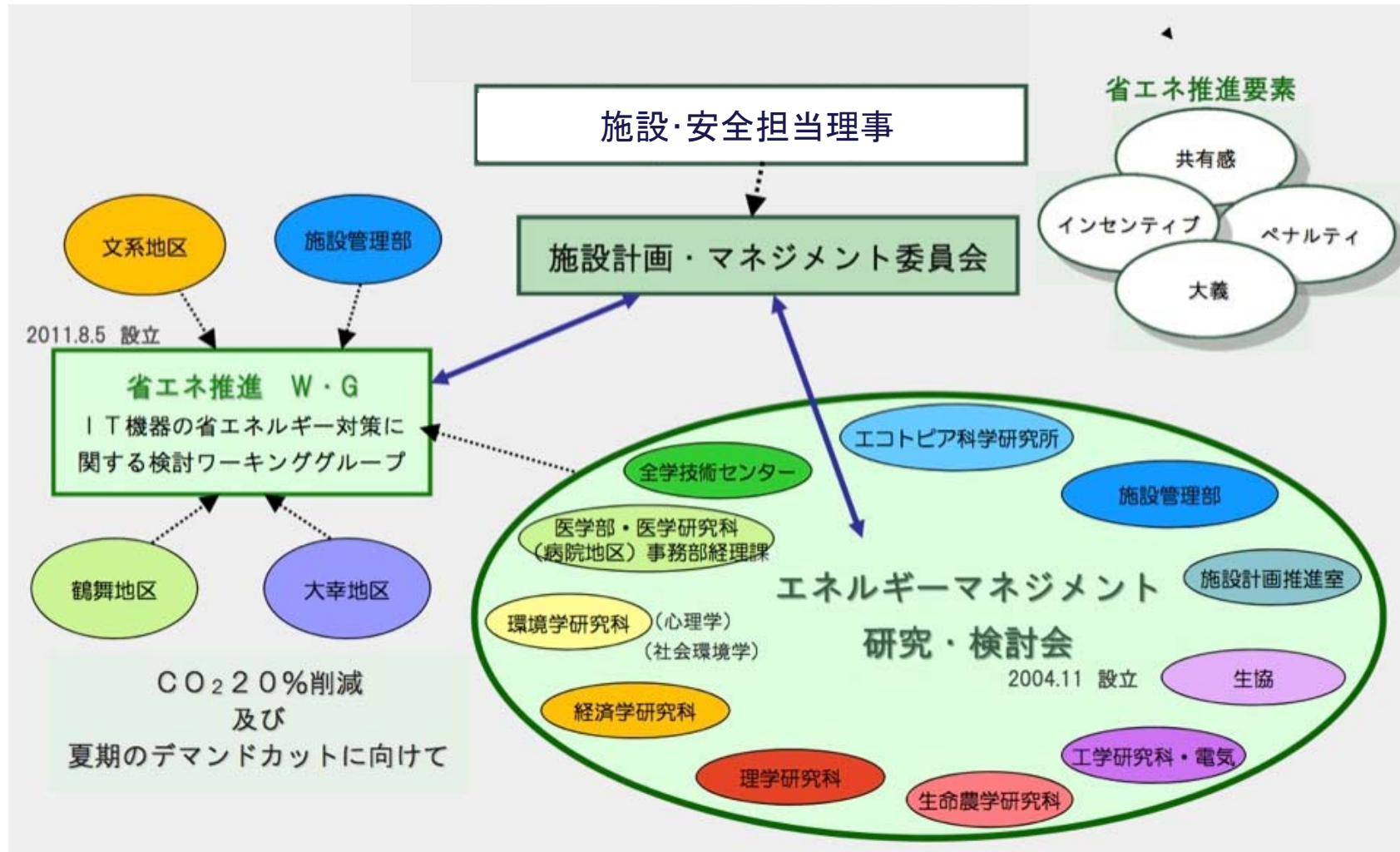
→10年で半数近くの施設を再生、キャンパス全体の再生へ



2015日本建築学会賞(業績)受賞



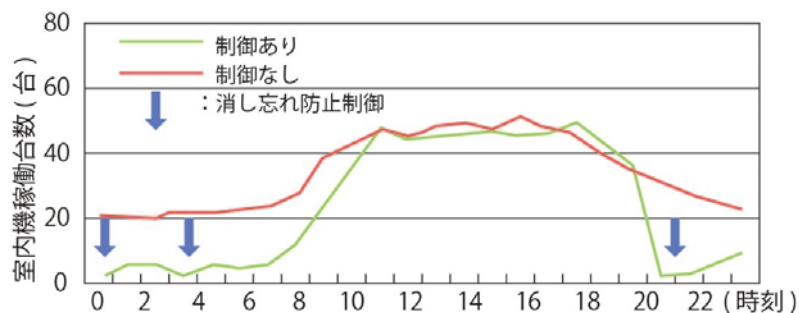
エネルギーマネジメント推進組織の位置づけ



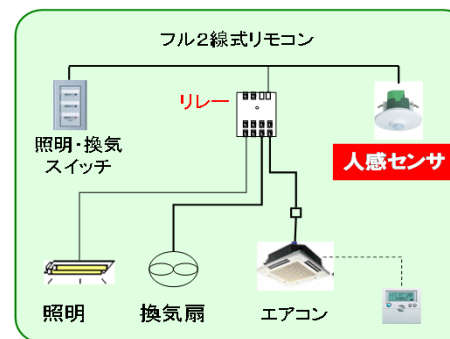
エネルギーマネジメント推進体制

エネルギーマネジメント研究・検討会

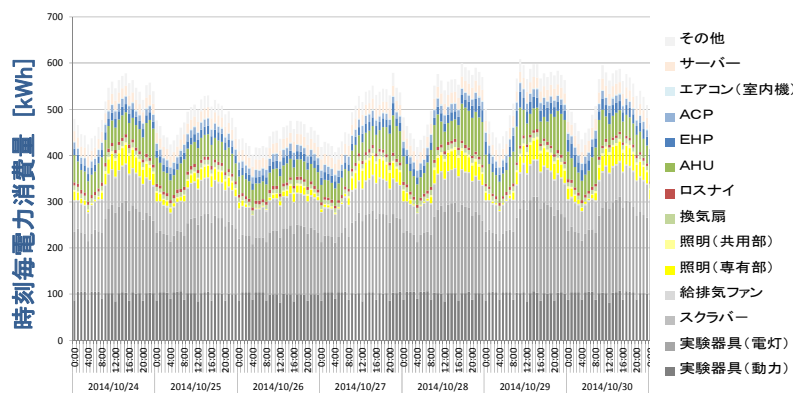
文・理多分野の研究者と事務・技術職員・学生・生協等からなる有志のボランティア組織にて、アイデアを研究・検証・実践



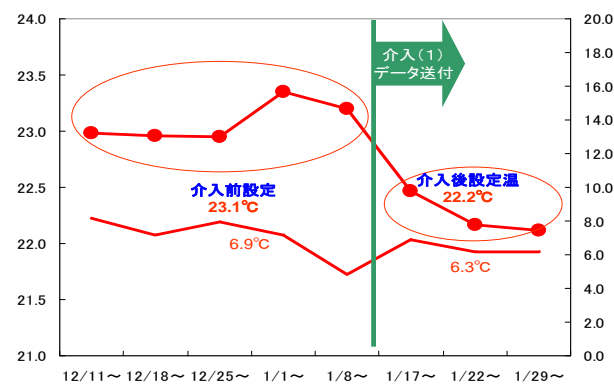
マルチエアコンの一元管理制御の効果検証



照明・換気・エアコンの人感連動制御



実験棟の用途別エネルギー消費分析



データ開示と省エネ行動の関係性調査

社会への還元・普及のための活動

大学でのプロジェクトやマネジメントの実践において常に心がけるべきこと

- 授業料や税金といった貴重な財源を利用していること、企業の支援、市民の協力によって活動が成り立っていることを認識すること
- 実践・研究で得られた知見は社会にわかりやすく還元し、また普及へのスクリーニングを受けること
- 大学を含む社会でのPDCAサイクルに貢献すること

その上で、活動として

大学主催の研究会
プロジェクトへの参画
学外での普及への支援
報告書・研究論文の公表

社会への還元・普及のための活動

- **大学FM 研究会**
2007年～計15回開催 延べ約2000名参加
- **病院FM 研究会**
2009年～計4回開催 延べ約400名参加
- **公共FM 研究会**
2009年～計5回開催 延べ約400名参加
- **エネルギーマネジメント研究検討会 成果報告会**
2005年～計10回開催 延べ約1600名参加

大学だけでなく、病院や自治体職員、企業関係者等幅広く参加

- **国立大学法人等施設系中堅職員研修会**
2013年～計2回開催 延べ約250名参加

ご清聴ありがとうございました。

